

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会は、スリランカと日本両国の相互理解を促すこと、スリランカ人の抱える問題の改善・解決を図ることを目的に、下記の事業を実施する。具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、スリランカよろず相談窓口事業、スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業、スリランカの子どもを対象とした教育振興事業、スリランカの物産の紹介と普及事業を実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

<ア> スリランカよろず相談窓口事業

(ア)	事業内容
①	大洪水被害について義援金の要請が真珠日本語センターのカーンチャナー校長からあり、会員から寄付を募った。
②	シンハラ人留学生Tさんから留学仲介者から結婚を強要され、当該の日本語学校に通えないとの相談があった。紆余曲折の末、新たな日本語学校に転校することで決着したが、その日本語学校での授業料30万円が払えず、留学生ビザが延長できないという事態になった。30万円を貸与することにした。
③	技能実習生受け入れ機関のアイサポート相川さんからシンハラ人技能実習生を受け入れる『サボ・テン』という会社でシンハラ語シンハラ文化について従業員に講義してほしいとの依頼があった。高野理事が窓口になり、新海副会長と大岩で対応した。
(イ)	実施日時 ①平成28年6月～7月 ②平成28年10月～29年2月 ③平成28年12月&平成29年1月
(ウ)	実施場所 ①スリランカ・ガンパハ県&ケーゴール県 ②水戸市、福生市 ③北名古屋
(エ)	従事者の人数 ①3名（スリランカ事務所代表インドラナンダ和尚、カーンチャナー校長 会長大岩碩） ②会長大岩 ③副会長新海啓一、理事高野幹成、会長大岩
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 ①シンハラ生徒7名&インド・タミル人多数 ②留学生1名 ③社員12名
(カ)	費用 417,480円 ①103,000円 内訳)シンハラ生徒とインドタミル人家族への文房具&生活必需品購買93,000円 通信費10,000円 ②305,000円 内訳)留学生への奨学金300,000円 通信費5,000円 ③9,480円 内訳)旅費交通費4,480円 通信費5,000円
(キ)	収益 399,000円 ①153,000円 内訳)義援金153,000円 ②246,000円 内訳)会員からの寄付金246,000円 ③0円

<イ> スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業

(ア)	事業内容
①	スバ・ランカ農園のカシューナッツ栽培とヤシ栽培 カシューナッツ栽培については今年度も天候不順に悩まされたが何とか例年並みの収穫量を確保できた。ヤシ栽培は順調である。これによって地域の環境保全に貢献し、地域住民の臨時雇用を実現した。
②	現地の協力者であるチャミットさんが事務局長を務める牛乳生産者協同組合による組合員への貸付について、その貸付原資に充当するため10万ルピー（76,923円）を贈呈した。地域振興に貢献した。
(イ)	実施日時 ①平成28年4月～平成29年3月 ②平成28年7月
(ウ)	実施場所 ①ブッタラマ県第10カヌワ ②ケーゴール県ガラピタマダ地区アルビティヤ村
(エ)	従事者の人数 ①8名（インドラナンダ和尚、農夫チャンダヤ、臨時雇用）②2名（チャミット氏他）
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 ①協会のカシューナッツ・オーナー及び農園管理者と臨時雇用 208名 ②組合員30軒
(カ)	費用 427,792円 ①340,769円 内訳)労賃261,538円、謝金30,000円、設備物品（肥料代）13,078円 交通費26,153円 通信費10,000円 ②86,923円 内訳)貸付原資76,923円 通信費10,000円
(キ)	収益 152,280円 ①152,280円 内訳)カシューナッツ販売（スリランカにおいて）127,280円、新規オーナー5名25,000円 ②0円

<ウ> スリランカの子どもの対象とした教育振興事業

(ア)	事業内容
①	お寺の付属幼稚園において『東南アジアに学校を造る会』（和歌山県新宮市延命寺と宝珠寺）から頂いた助成金20万円をもとに、一般寄付金からも供出し、バイオガス・タンク（汚水処理）付きトイレを建設した。この事業は幼児教育支援の一環であるが、バイオガスタンクを汚水処理に使うのはスリランカで初めての試みであり、幼稚園のあるお寺の食べ残しを処理する点で環境保全の事業でもある。今までは、食べ残しが寺の敷地内に放置され、悪臭を放っていたのである。
②	タミル小学校&シンハラ中学校の児童の合同課外授業を実施した。両校の児童がサナサ・ホールに集まり、授業が始まった。まず、両校が所属する教育委員会のOBの方による民族間の融和を説く講話が行われ、次に当該地区に生息する希少魚類の保護活動団体の会長によるビデオを見ながらの解説があり、その後、希少魚類バンドゥラ・ペティヤーの生息する小川に行き、当該の魚を観察した。このイベントの後、会長が現地にとどまり、面接調査を行い、今後の事業展開について意見を聴取した。
③	スリランカで日本語を学ぶ生徒・学生たちに和英・英和辞典、漢和辞典などを寄贈した。
④	スパ・ランカ協会スポーツ教育振興部長の茂木一美さんがスリランカに赴き、現地におけるバレーボール振興のために、今後、何をすべきかをスリランカの指導者たちと話し合った。
(イ)	実施日時 ①平成28年7月～平成29年3月 ②平成29年1月30日～2月7日まで ③平成28年7月～平成29年3月 ④平成29年3月9日～14日
(ウ)	実施場所 ①キャーガッラ県ガラピタマダ地方 ② キャーガッラ県ガラピタマダ地方ドゥヌマーラ ③ガンパハ県ガンパハとキャーガッラ県ガラピタマダ地方 ④ニッタンブワ市域
(エ)	従事者の人数 ① チャミット氏、ジャヤマガ青年農業者会役員3名 ② 会長大岩、チャミット氏、インドラナンダ師 ③ 会長大岩、カンチャナー校長、チャミット氏 ④ 茂木一美氏、アーリ氏他
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 ① 幼稚園児・仏教日曜学校生徒215名 ② インド・タミル及びシンハラ児童130名 教師21名、保護者30名 ③ 日本語クラス生徒、高校生 約60名 ④バレーボール指導者2名
(カ)	費用 859,534円 ① 317,266円 内訳) 労賃121,875円 建設資材161,250円 輸送費17,344円 通信費10,000円 諸経費16,797円 ② 485,268円 内訳) 労賃35,000円 謝金83,070円 物品購入149,838円 旅費交通費117,160円 諸経費46,800円 施設利用23,400円 通信費10,000円 ③ 57,000円 内訳) 輸送費 52,000円 旅費交通費5,000円 ④ 125,000円 内訳) 旅費交通費100,000円 諸経費20,000円 通信費5,000円
(キ)	収益 795,268円 ① 200,000円 内訳) 『東南アジアに学校を造る会』助成金 200,000円 ② 475,268円 内訳) 大竹財団助成金 420,600円 一般寄付 54,668円 (災害義援金から) ③ 0円 ④120,000円 内訳) 茂木さん寄付金 120,000円

<エ> 日本とスリランカ両国の相互交流推進事業およびボランティア支援事業

(ア)	事業内容
	「シンハラ語を学んでスリランカに行こう」というボランティア親善旅行を企画し、ガラピタマダ地方のゴム園インドタミル小学校とジャヤマガ教育センター、ガンパハの真珠日本語センターの生徒と交流し、文房具寄贈等を行い、日本舞踊、民謡、書道、盆踊りなどの日本文化を紹介した。
(イ)	実施日時 平成28年7月24日～8月1日
(ウ)	実施場所 コロンボ→ヌワラエリヤ（列車の旅）→キャンディ→ノリタケ見学→シーギリヤ→コートテ国会議事堂→ガラピタマダ郡キャクルピベナ幼稚園トイレ完成&ドゥヌマーラ小学校石垣完成式典に参加→チャミット宅日本語研修センター生徒と交流→ガンパハ真珠日本語センター生徒と交流→ニッタンブワのスパ・ランカ・スリランカ事務所（ウィディヤナンダ僧院学校）で仏教日曜学校の生徒と交流&踊り鑑賞、そして元大統領チャンドゥリカ夫人の大邸宅訪問→空港
(エ)	従事者の人数 2名(副会長新海、会長大岩)
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 ツアー参加者13名
(カ)	費用 40,000円 内訳) 旅費交通費10,000円、通信費20,000円、諸経費10,000円
(キ)	収益 0円

<オ> スリランカの物産の紹介と普及事業

(ア)	事業内容 紅茶とカシューナッツの配布(随時)
	スリランカマックウッド社の紅茶とスパ・ランカ農園のカシューナッツを希望者に随時配布した。
(イ)	実施日時 平成28年4月～平成29年3月
(ウ)	実施場所 東海3県、関東、北海道
(エ)	従事者の人数 2名(会長大岩ほか理事1名)
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 会員及びカシューナッツ・オーナー約100名
(カ)	費用 164,636円 (内訳)物産購入費39,597円(紅茶35,313円 カシューナッツ8,125円)、郵送費 125,039円 通信費10,000円
(キ)	収益 69,780円 内訳) 紅茶随時販売 69,780円

<カ> スリランカを紹介する広報啓発事業

(ア)	事業内容
	① シンハラ語入門講座を開講した。 ② スリランカ・カレー教室を開催した。 ③ シンハラ語入門、スリランカ初級検定を実施した。
(イ)	実施日時①平成28年4月～平成29年3月(名古屋20回、岡崎10回の計30回) ②平成28年5月15日、6月26日、10月2日 ③ 平成28年11月3日
(ウ)	実施場所 ①名古屋西生涯学習センター、おかげぎニュース編集室(サロン・デ・クララ)②碧南文化会館、名古屋西生涯学習センター、岡崎リブラ ③国際センター
(エ)	従事者の人数 ① 2名(会長大岩、副会長新海) ②8名(理事小林、理事廣間、会長大岩、副会長新海、講師:スニルさん、レーヌカーさん、ワッサさん&アンジャナさん) ③ 2名(副会長新海と会長大岩)
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 ① 18名 ② 参加者 延べ44名 ③ 両検定合わせて15名
(カ)	費用 326,400円 ① 270,000円 (内訳)施設使用料106,000円、教材印刷代金 60,000円、交通費 104,000円 ② 35,800円 (内訳)施設使用料 4,800円 物品材料費24,000円 通信費1000円 交通費6,000円 ③ 20,600円 (内訳)施設使用料 4,800円、印刷代金 5,800円 通信費 8,000円、交通費 2,000円
(キ)	収益 182,000円 ① 135,000円 (内訳) 受講料 1人300円×30回× 15名 ② 27,000円 (内訳) 参加費用 1人1,000円×27名 ③ 20,000円 (内訳) 参加費用 1人2,000円×10名

3 会議の開催に関する事項

1) 総会

ア 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

平成28年5月29日 15:00～16:30 名古屋市女性会館 小会議室

(イ) 議題

- ① 平成28年度事業報告書の承認について
- ② 平成28年度活動計算の承認について
- ③ 平成29年度事業計画について
- ④ その他

2) 理事会

ア 第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成28年5月29日 13:30～14:30 名古屋市女性会館 小会議室

(イ) 議題

- ① 平成28年度通常総会の議題について
- ② その他

第2回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成28年11月20日 13:00～16:30 名古屋市女性会館 ロビー

(イ) 議題

- ① 協会による収益を生み出す事業について
- ② その他
報告
- ① スパ・ランカ農園について
- ② 申請事業について

第3回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成28年12月17日14:15～16:45 名古屋市女性会館 ロビー

(イ) 議題 自前資金調達

- ① スリランカでのたこ焼き店 2017年3月にたこ焼きの実演と指導を行う。
- ② シンハラ語シンハラ文化の出前授業とシンハラ語通訳（技能実習生関連）
- ③ その他